

授業改善等に関する報告書（2025年後期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2025 (後期) 国際学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
基礎演習	大塚 みさ	大半が成長を実感できていました。その根拠として、レポートや論文作成のプロセスが情報の精査や言語力の向上につながったことや、引用手法、プレゼンのスキルアップなど具体的なポイントがあげられており、うれしく思いました。次年度は質問のしやすさなどを工夫したいと思います。
基礎演習	久保田 佳枝	ご回答ありがとうございます。本科目は必修科目であり、かつ1限開講ということもあって、毎回の出席は決して容易ではなかったことと思います。そのような中で、プレゼンテーションやレポート作成に関する学修に真摯に取り組まれたことを高く評価いたします。2年次以降は、これまで以上にレポート課題が増えることが予想されます。書き方や参考文献の引用方法等で迷うことがあれば、本授業の教科書や配布資料をあらためて参照し、基礎を確認しながら学習を進めてください。今後の学修のさらなる充実を期待しております。
基礎演習	小牧 幸代	基礎演習は、前期の実践入門セミナーに続く、必修の対面授業でした。内容は、日本中の全ての大学1年生が受講する初年次教育の実践女子大学バージョンの続編で、パワーポイントを使ったプレゼンや、グループディスカッション、長文レポートの書き方など、大学生として身につけるべき技術を習得するための訓練が中心でした。 前期の実践入門セミナーの最後に提出してもらったレポートと、今回、提出してもらったレポートを比べると、ほとんどの人が自分の意見を分かりやすく伝える技術を向上させていました。形式面では、まだルールを守れていない人もいましたが、内容面では本当にすばらしい仕上がりででした。 レポートや論文は、内容もさることながら、形式が非常に大事です。授業で配付した「相互採点票」のプリントを、スマホで写真に撮るなどして保存し、レポートの課題やテストがある時は、このプリントを見て、セルフチェックしてから提出するようにすれば、形式面での減点が少なくなると思います。形式が整えば、期末レポートで見せてくれた、素晴らしい内容面で勝負することができます！ この授業で身につけたレポート作成術を、レポート作成のたびにどんどん磨き上げ、自分の意見を的確に言語化できるスキルを確実に身につけてください！応援しています(^)/
基礎演習	コルネーエヴァ、スヴェトラーナ	この度はアンケートへのご協力ありがとうございます。少人数の演習形式である本授業において、自身の成長実感や総合的な満足度で一定の評価をいただいたことを嬉しく思っています。一方で、予習・復習などの学外学習時間が平均を下回っている点や、教員の声の聞き取りやすさにおいて課題が残る点については、重く受け止めています。 今後は、受講生がより集中して議論に参加できるよう、発声や指示の明確化に努めるとともに、自発的な学習をさらに促すような適切なフィードバックと課題構成を模索していきます。今回の結果を糧に、演習を通して得られる学びがより深く、そして次へのステップに繋がるような充実した授業へとアップデートを重ねてまいります。
基礎演習	武内 一良	論理思考について理解を深めるような様々な作業を授業で実施しましたが、インターネットに掲載されている他人の総論などに影響されるため、ピンポイントで自分独自の見解をまとめられるようにするまで導けなかった学生が多かったことが反省点です。ネット世代の学生に対して論理思考を理解させることの難しさを改めて感じました。
基礎演習	三田 薫	アンケートを通じて、説明のわかりやすさや双方向授業の工夫について、高く評価してくれていること知りました。またこの授業を通じて「自身の成長を実感」できた(4.67)ということがわかり、うれしく思います。2年生以降も、学んだ基礎を生かして実力を高めてください。
Effective Communication a	三田 薫 レビー、ロバート・C	ライティング力とリーディング力が身についた、英語を自分で書く力が身についた、といったコメントがあり、うれしく思います。内容が易しすぎたというコメントもあったので、来年度はレベルアップした内容で実施したいと思います。
Effective Communication a	飯泉 恵美子 レビー、ロバート・C	前期からの1年間お疲れ様でした。それぞれが自分なりに頑張ったように思います。来年の留学では、これまでに学んだことの成果を発揮してきてください。世界はとても広いです。いろいろな人、考え、生活があります。これから皆さんはそれを存分に体験し、自分のアイデンティティを確立してください。充実した1年でした。ありがとうございました。
English Workshop c	グリーン、バーバラ	学生たちはこの授業に満足してもらえた。オンラインで受講できるマンツーマン会話レッスンが、学生のスピーキングスキルと自信を大きく向上させたと考えています。今後も授業内で積極的な発言を促していきます。
English Workshop d	グリーン、バーバラ	アンケートの回答がありませんでした。しかし、学生たちはこの授業に一生懸命取り組み、教えるのが楽しいクラスでした。

[2025 (後期) 国際学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
Basic Listening	藤原 正道	アンケートに答えてくれた皆さん、ありがとうございます。 Listeningについて自分の強みと弱みが分かったら良いでしょう。 Listeningは英語を聞く時間と量に比例して実力が付きます。 益々努力することを期待します。 指摘について検討し、これからも授業改善に努めます。
Basic Reading	久保田 佳枝	ご回答ありがとうございます。本科目は、英語に苦手意識を持つ学生が自信を培えるよう、身近な題材を用いながら、次年度の留学に向けて主体的にコミュニケーションを図るための基礎力を養うことを目的として運営しました。授業初期には発話に戸惑いが見られたものの、回を重ねるごとに、ためらうことなく音読に取り組み、教材中の英語の歌を自発的に歌う姿も見られるようになりました。皆さんの変化と成長は大変印象的でした。 本授業で培った「声に出す経験」と「伝えようとする姿勢」は、次年度の留学において必ず力になります。ここで得た自信を土台として、さらに実践的な英語運用力へと発展させていくことを期待しています。
Basic Reading	久保田 佳枝	ご回答ありがとうございます。本科目は、身近な題材を活用しながら、次年度の留学に向けて主体的にコミュニケーションを図るための基礎力を養成することを目的として実施しました。自主的に発言しようとする姿勢は、次年度の留学において必ず実践的な力へと結実します。ここで得た自信を礎に、さらに主体的かつ積極的に英語運用力を高めていくことを期待しています。
Basic Writing 月曜配信 (渋谷)	グリーン, パーバラ	オンライン授業として、AI使用を防止するため複数のツールを活用しました。残念ながら、多くの学生がAIを使用していることが発覚しました。週によっては、受講生の約20%に上るケースもありました。 AI使用が発覚した学生の中には、対面でのライティング課題を良好に完了することで点数を挽回できた者もいました。オンラインのライティング授業は、学生の自信不足からAI使用に走りがちな環境を生み出すと考えています。対面での補講ライティング課題で明らかになったように、学生は直接対面する環境で作業を行う方がより良い成果を上げられるのです。
Basic Writing 月曜配信 (渋谷)	藤原 正道	アンケートに答えてくれた皆さん、ありがとうございます。 Writingの基本から応用まで身につけていければ良いでしょう。 益々努力することを期待します。 指摘について検討し、これからも授業改善に努めます。
異文化コミュニケーション論 a 金曜配信 (渋谷)	久保田 佳枝	ご回答ありがとうございます。本授業では、異文化コミュニケーションの基本理念である「多様性の尊重」を理解することを目的として、日本と諸外国の文化的背景や価値観の違い、さらにそれらがコミュニケーション様式にどのように影響するのかを学んできました。 次年度は引き続き「異文化コミュニケーション論b」が開講されます。今学期に修得した理論的枠組みを基盤に、ケーススタディを通して理解の応用と定着を図っていきます。知識を「知っている」段階から「使える」段階へと発展させていくことが目標です。これまでの姿勢を継続し、さらに思考を深めていきましょう。
国際メディア論	グリーン, パーバラ	学生からは説明の明瞭さについて懸念が寄せられました。教材の理解度向上を図るため、講義スライドと配布資料の改訂を確実にを行います。また、学生からはこのテーマへの関心が深まったとの声が上がリ、大変喜ばしいことです。
英語学入門 b 木曜配信 (渋谷)	藤原 正道	アンケートに答えてくれた皆さん、ありがとうございます。 統語論、意味論、語用論について理解が深まっていければ良いでしょう。 オンデマンド型授業の特徴でしょうか、欠席の多さが目立ちました。 きちんと出席した学生は、良い成績になっていることでしょう。 指摘について検討し、これからも授業改善に努めます。
認知文法論	藤原 正道	アンケートに答えてくれた皆さん、ありがとうございます。 ことばと心理の関係＝認知について理解が深まったことを期待します。 指摘について検討し、これからも授業改善に努めます。
国際文化論 b	小牧 幸代	国際文化論bでは、担当教員のフィールドワークに基づく様々な具体例を、宗教、女性、グローバル化という観点から検討することで、世界に広がる南アジアの人々の文化に対する理解を深めていくことを目指しました。グループごとに南アジア女性への英語でのインタビューにも挑戦し、授業で習得した知識の活用の仕方についても考えました。 授業の内容に対して履修者数が多かったため、一人一人の発言の時間が不足したり、コミュニケーションが十分にとれなかったりしたことが、私にとっては大きな心残りです。しかし、各グループでの活動や、英語でのインタビューは非常に素晴らしく、成果報告も示唆に富むものでした。大成功だったと思います！履修者のみなさんは、英語でのインタビューを立派に成し遂げたことを誇りに感じてほしいです。 筆記試験の点数は、中間テストよりも期末テストのほうが、全体的によかったことを高く評価したいと思います。これからも知的好奇心を維持し続けてください(^)/
国際社会学 b 木曜配信 (渋谷)	寺本 めぐ美	配布資料がより分かりやすいものになるように工夫する。

[2025 (後期) 国際学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
比較文化論	寺本 めぐ美	配布資料がより分かりやすいものになるように工夫する。
日本文化論 b	コルネーエヴァ, スヴェトラーナ	この度はアンケートへのご協力ありがとうございました。多くの受講生から、授業内容や説明のわかりやすさ、そして総合的な満足度において極めて高い評価を受けたことを大変光栄に感じています。一方で、予習・復習などの学外学習時間が全体平均を下回っている点については、今後の大きな改善課題であると真摯に受け止めています。今後は、受講生の知的好奇心をさらに刺激し、自発的な学習を促すような資料の提供や、より活発な双方向のやり取りができる環境づくりに努めていきます。今回の結果を糧に、日本文化への理解をより深く、そして楽しく深められる授業へとアップデートを重ねてまいります。
現代日本社会論	コルネーエヴァ, スヴェトラーナ	この度はアンケートへのご協力ありがとうございました。現代日本社会の諸課題を扱う本授業に対し、多くの受講生から一定の理解と満足度をいただいたことを、今後の励みとさせていただきます。一方で、予習・復習などの学外学習時間が全体平均を大幅に下回っている点や、自身の成長を実感したとする回答が控えめである点については、大きな改善課題として真摯に受け止めています。今後は、受講生がより主体的に学びを深められるよう、資料の見やすさや説明の平易化に努め、知的好奇心をさらに刺激する工夫を凝らしていきたいと思えます。今回の結果を糧に、現代社会の構造をより多角的に理解し、自身の成長を明確に実感できる授業へとアップデートを重ねてまいります。
日本語学入門 b 水曜配信 (渋谷)	大塚 みさ	アンケート回答者が少なかったのが残念でしたが、オンデマンド授業ゆえ力を入れた説明のわかりやすさや双方向的授業の工夫についてよい評価を得ることができてうれしく思いました。また、「前回授業の振り返り」については、復習ができる、他の受講生の意見から学べることに加え、自分の解答が取り上げられることへのモチベーションについても触れられており、大変参考になりました。顔の見えない授業だからこそ、受講生一人ひとりの存在を意識した授業を目指し、改善を重ねていきます。
日本語教育入門 a	大塚 みさ	本授業では、毎回の知識と理解の積み重ねに重点を置き、視聴覚資料やフィードバックに注力しました。その点が概ね評価されており、うれしく思いました。授業では、グループワークを積極的に導入しました。これについて特別設問で尋ねたところ、「自分とは違う考え方に気づけた」「モチベーションが上がった」など概ね好評でした。ただ、アクティビティの指示がわかりにくいという声もあったので、次年度はその点を改善します。
地域経営学入門 b	九里 徳泰	1年生には難しい経営学を地域活性化に応用する授業でしたが、多くの学生が「さらに学びたい」という結果が出ました。また、授業を満足した学生が平均よりも多く、14回の課題レポート及び渋谷をテーマにした最終レポートにもしっかりと時間をかけて作成した学生が多かったです。自らが通う場所である渋谷を改めて考えるいい機会になったと思えますし、講義型の授業でしたが1~2回のフィールドワーク実践ができたこともこの授業の特徴です。授業の改善点としては、よりインタラクティブな授業を展開したいと考えています。
観光学入門 b	武内 一良	全体的には、国際学科と英文学科の学生が履修していたため、観光に関する授業が初めての英文学科の学生と初めてではない国際学科の学生を組み合わせさせて2人ずつの共同作業を行ったことは、授業の理解に貢献したようです。観光学の奥深さを見せることができたように思います。
国際コミュニケーション特別講義 a 金曜配信 (渋谷)	久保田 佳枝	ご回答ありがとうございます。本科目は全回オンデマンド形式で国際学部04科目でしたが、他とは異なり他学部生も履修可能であったことから、通常の運用形態で進めました。そのため、留学中に履修された方にとっては、各回の課題提出期限を守ることが容易ではなかったことと思えます。そのような状況の中、最後まで取り組まれたことを評価いたします。内容についても、コミュニケーション学の実用領域を扱ったため、理論的にも難易度の高い部分があったかと思いますが、粘り強く学修を継続された点は大変意義あるものでした。一方で、シラバス、manabaコースニュース、および第1回授業において説明している内容に関して、確認されていないと思われるご意見も一部見受けられました。今後、科目を履修する際には、事前に提示されている情報や連絡事項を必ず確認した上で受講していただくようお願いいたします。これは大学での主体的な学修姿勢の基本となるものです。今後のさらなる成長を期待しております。
国際文化特別講義 a 金曜配信 (渋谷)	寺本 めぐ美	配布資料がより分かりやすいものになるように工夫する。

[2025 (後期) 国際学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
日本文化特別講義 a 火曜配信 (渋谷)	コルネーエヴァ、スヴェトラナ	<p>この度はアンケートへのご協力ありがとうございました。オンデマンド配信形式の「日本文化特別講義」に対し、説明のわかりやすさや教員の声の聞き取りやすさなど、多くの項目で極めて高い評価 (4.56) をいただいたことを大変光栄に思います。</p> <p>一方で、予習・復習などの学外学習時間が受講生によってばらつきがある点や、さらなる成長実感を促す工夫については、今後の課題として真摯に受け止めています。今後は、受講生の皆様が日本文化への知的好奇心をより主体的に深められるよう、配信資料の質をさらに高め、自発的な学習を促す環境づくりに注力していきます。</p> <p>今回の結果を大きな糧に、配信授業の利点を最大限に活かし、受講生が学びの喜びと自身の成長を明確に実感できる授業へとアップデートを重ねてまいります。</p>
地域文化特別講義 a 水曜配信 (渋谷)	九里 徳泰	<p>留学生向けのオンデマンド・クォーター授業で、2回連続のビデオとデジタル教科書での勉強は大変だったと思いますが、理解度、満足度も高い授業となりました。地域活性化は観光を超えて、街づくり、人づくりでとなる総合的な社会技術です。継続して地域を活性化していくことの大切さの眼差しも持ち続けてください。渋谷もまだまだ地域活性化が必要です。</p>
国際文化事前研修	久保田 佳枝	<p>ご回答ありがとうございます。必修科目であり、かつ金曜4限という時間帯での開講でしたので、1限から続けて受講された皆さんにとっては、体力的にも負担が大きかったことと思います。</p> <p>留学は、異文化環境に身を置く経験です。事前に準備できることには限界があり、すべての情報が事前に揃うわけではありません。不安を抱くことも自然なことです。その不安もまた、留学前の大切なプロセスの一部と言えるでしょう。期待と不安の両方を抱えながら、自らの成長の機会として前向きに捉え、今後の留学に備えてください。皆さんの挑戦を心より応援しています。</p>
国際文化事前研修	小牧 幸代	<p>国際文化事前研修は、必修の海外留学に参加するための事前準備科目でした。学生時代に海外留学を経験することは、達成感や責任感を高め、国際社会人基礎力を習得するために非常に有効です。</p> <p>授業では、海外で発生する事件や犯罪に巻き込まれないようにするためのリスクマネジメント、留学先の大学やホームステイ先・学生寮、地域社会で友好的な関係を築くための対人コミュニケーション、さらに留学希望大学とその大学が立地する国や地域に関する情報の収集、実際に留学している先輩からのメッセージを聞いたり質問したりという、3つの方向から学んでいきました。</p> <p>授業の最後に、学んだことを形にするために、自己紹介アルバムを作成してもらいました。このアルバムは、留学先で新しい友人関係を築くためのツールとして、みなさんが想像する以上の重要な意味を持っています。提出したアルバムを最終版とするのではなく、さらに追加したり修正したりして、自己表現および自己実現のための最強のパートナーにまでバージョンアップさせていってください。そのためには、日本を知る、留学先を知る、相手のことを想像する、自分自身を振り返る…という作業が大切です。あと半年です。時間を有意義に使って、ますます学びを広げ、深めていってください(^)/</p>
国際文化事前研修	武内 一良	<p>この科目は、14回の授業の内、9回を名の担当教員が3回ずつ受け持っています。すなわち、3名の教員が3回ずつ同じクラスにとどまり、①海外文化事情、②異文化コミュニケーション、③海外リスクマネジメントとそれぞれの専門的な分野を担当して3つのクラスを巡るオムニバス方式を取っているのので、評価は全体的なものと考えられます。</p>